



株式会社 JCU



証券コード：4975

株主・投資家の皆様へ

第55期

JCU REPORT

中間報告書 (2014.4.1—2014.9.30)

CONTENTS

目で見る連結決算ハイライト
セグメント別業績概況
株主・投資家の皆様へ
トピックス 韓国現地法人の紹介

特集 JCUの技術力
中国における
金めっき
採用例の紹介

連結財務諸表
株式の概況 / 会社概要

目で見る連結決算ハイライト (第55期中間)

売上高

9,384百万円

前年同期比21.0%増



営業利益

2,145百万円

前年同期比92.4%増



経常利益

2,173百万円

前年同期比70.0%増



四半期純利益

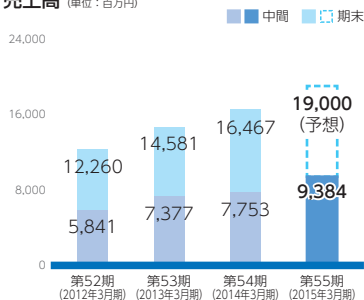
1,441百万円

前年同期比86.3%増

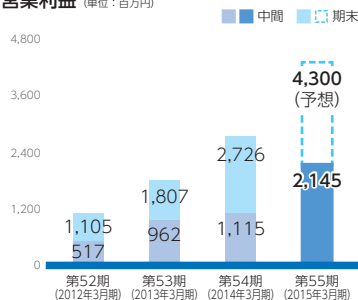


財務ハイライト (連結)

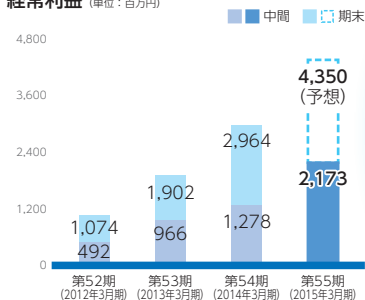
売上高 (単位: 百万円)



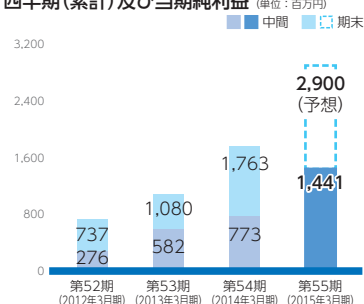
営業利益 (単位: 百万円)



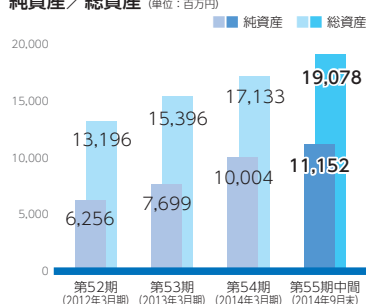
経常利益 (単位: 百万円)



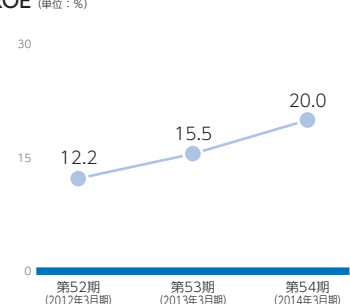
四半期(累計) 及び当期純利益 (単位: 百万円)



純資産／総資産 (単位: 百万円)



ROE (単位: %)



装置事業

15.8%

新規事業

4.3%

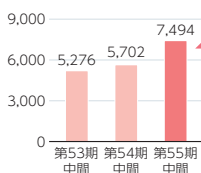
セグメント別 業績概況

薬品事業

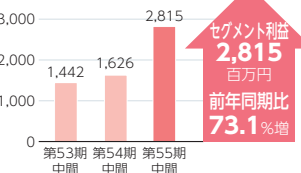
79.9%

薬品事業

■売上高 (単位: 百万円)



■セグメント利益 (単位: 百万円)



薬品事業では、国内外市場において表面処理薬品の製造販売、関連資材の仕入販売を行っております。もっとも重要なマーケットと考えているのは、一つは自動車や住宅産業であり、もう一つはプリント配線板や電子部品などのエレクトロニクス産業であります。当中間期は、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が引き続き伸張り、中国においては、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移した結果、売上高・セグメント利益ともに前年同期を大きく上回りました。

当社薬品使用例



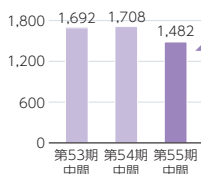
自動車部品



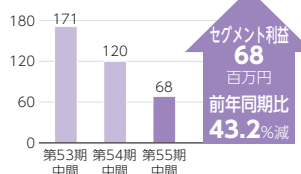
プリント配線板

装置事業

■売上高 (単位: 百万円)



■セグメント利益 (単位: 百万円)



装置事業では、全自動表面処理装置及び表面処理装置の付帯機器の製造販売を行っております。当中間期は、一部の顧客において設備投資に前向きな動きが見られ始めたものの、前年同期並みの受注には至らず、売上高・セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

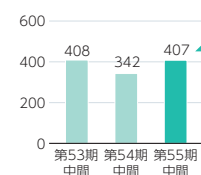
製品一例



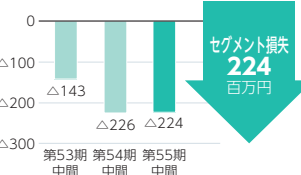
全自動表面処理装置

新規事業

■売上高 (単位: 百万円)



■セグメント利益 (単位: 百万円)



新規事業一例



太陽光発電装置

新規事業では、プラズマ技術を利用したプリント配線板のエッチング及び洗浄用装置の販売、スパッタリング装置による着色処理、貴金属めっきの薬品製造販売、コーティング薬剤の販売、環境関連装置の製造販売等を行っております。当中間期は、太陽光発電設備の売上計上により売上高は前年同期を上回ったものの、セグメント利益は前年同期並みとなりました。

3期連続の 最高益更新を目指して

第55期中間期の業績

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

首題に掲げた趣旨に則り、あっという間の6ヵ月が過ぎ、第55期中間期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の決算をご報告申し上げる時期となりました。中間期決算は、売上高93億84百万円(対前年同期比21.0%増)、営業利益21億45百万円(同、92.4%増)、経常利益21億73百万円(同、70.0%増)、四半期純利益14億41百万円(同、86.3%増)となりました。海外での売上比率が高くなっております関係で、円安の影響もかなりあると思っています。

この結果、株主の皆様に対する利益還元として、中間配当は前年同期の55円から80円に増配することと致しました。また期末配当につきましては、2014年10月1日を株式分割(2分割)の効力発生日にしておりますので、分割後の株式数を基準に1株当たり40円を予定しております。これは、分割前の1株あたりに換算すると80円となりますので、年間配当金は株式分割前換算で、前期と比べ実質50

円の増配を予定しております。

当社を取り巻く市場環境

スマートフォンの市場競争は私達が思う以上に激化しており、当社としても念には念を入れて注視していく必要があると考えています。スマートフォンにおける中国勢の動きやアップルの攻勢、サムスンの停滞など1年前とは大違いの様相です。これからのスマートフォン市場は高付加価値製品と低付加価値製品と二極分化していくと予想しております。高付加価値製品にはフレキシブル基板(薄く柔軟性があり折り曲げられる基板)が使用され、多層にビルドアップ(積層)すると考えられます。一方、低付加価値製品には従来通りの比較的厚い基板の多層化が行われると思います。いずれにしても当社としては、どちらにも対応できる体制と技術的アプリケーションが求められているものと覚悟しなければなりません。

最近台湾では、銅パター（半導体とそれを載せる基板を接続するために銅めっきの柱を基板に形成する工法）の採用が各社で検討されていますが、その成否に大きな関心があります。当社では、日本はもちろん台湾などに対し、銅パター試作の支援を行っております。これも新しいスマートフォン向け基板の新工法の一つです。

また、自動車業界の動きも激しくなっています。今年は、トヨタが水素ガスを燃料とする自動車の発売を公表している一方で、アメリカやヨーロッパの自動車メーカーは電気自動車の新型モデルの発売を公表しています。いずれにしても将来、自動車の自動運転技術の開発競争が激化するでしょう。私達はその動きにも対応していかなければならず、アメリカにその開発拠点を設立する予定です。なお、メキシコ・ベトナム・韓国の当社新工場についても、今期全て竣工致します。



当社は常に他社より一手先の研究開発とマーケティングに全力を挙げて取り組んでおります。今後とも株主・投資家の皆様のご支援とご協力を切にお願いする次第です。



2014年12月

代表取締役会長兼CEO 粉谷佳允

韓国現地法人の紹介

JCU KOREA CORPORATION

常務理事 尾辻 雅之

当社が韓国に拠点を設置し10年の節目となる本年(2014年)に、更なる飛躍を目指し韓国忠清南道天安市に新工場(JCU KOREA天安工場)を設立致しました。

韓国の中心に位置する忠清南道は、全体的に平野が多い地域で、鉄道や高速道路が交差する交通の中心地としての役割を果たしてきました。韓国の名山・鷄竜山(ケリョンサン)と錦江(クムガン)、953kmのリアス式海岸も美しく、歴史博物館や有名温泉など、見所の多い地域です。また、忠清南道は韓国歴史の百済時代の舞台ですが、日本と百済の外交関係は4世紀後半から始まり、高句麗・新羅に比べて友好的でした。今も百済時代(346~660年)の古い建物と遺跡が残り、仏教文化が開いたかつての栄華を訪れる人々に伝えています。

忠清南道天安市は、‘天の下のアラギの土’という意味を持つ都市だけあって、地震など天災地変の危険性が少ないと知られています。また、首都圏、釜山など全国の主要都市と繋がる高速道路をはじめ鉄道、貿易港など物流インフラが備わっております。

天安工場は、高品質な製品を提供するための生産設備類と分析機器を備えており、世界基準であるDNV DLグループのISO14001と9001の取得準備中であり、2014年末には取得可能です。当社新潟工場同様の安全対策を実施するとともに、研究開発センターを併設し、お客様へのアフターサービスを含めた技術サービスをご提供致します。

天安工場が完成したことで韓国において当社の市場競争力が高まり、顧客対応がより充実することで更なる飛躍を可能に出来ると確信しております。今後とも韓国現地法人一同、常に技術革新を推進し、顧客満足度の向上に繋げていけるよう努めてまいります。



JCU KOREA天安工場(2014年11月)

中国における 金めっき採用例の紹介

総合研究所 エレクトロニクス技術開発2部
主任研究員 高橋 秀臣



鎮江華印电路板工場

はじめに

中国江蘇省鎮江市にある鎮江華印电路板有限公司(SHPC)において、初期評価から半年という短期間で当社薬品の採用を決定され、量産を開始されました。鎮江市は上海から西へ約250km、高速鉄道和諧号で約1時間半、鎮江香醋という黒酢が有名な人口約300万人の都市です。日本企業が少なく、街中で日本人を見ることはほとんどありません。

SHPC社は、日本企業から技術指導を受け、スマートフォンやデジタルカメラに使用されている各種基板を製造している成長著しい会社です。エンドユーザーは、誰もが知っている日本、韓国、中国の電機メーカーです。

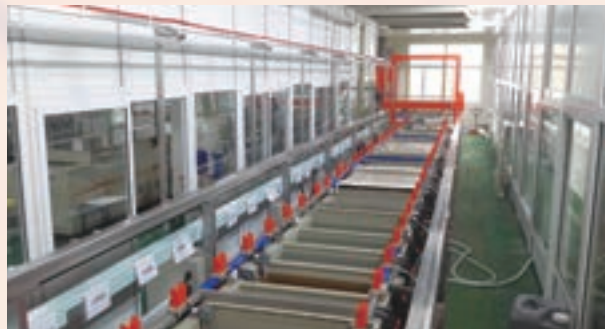
当社の強み

当社はアジア各国に現地法人があります。中国でも現地法人の事務所から、すぐに顧客を訪問でき日本の総合研究所と協力し試作加工やトラブル発生時の原因究明が短時間で可能です。SHPC社のように初めて金めっきを採用する場合、総合研究所より日本人技術者が立ち会い、めっき装置の洗浄からめっき液の建浴(めっきができる状態にすること)、立ち上げから安定稼働まで作業手順やめっき液分析の指導、人材教育まで責任をもって対応致します。

今後の展開

中国では従来安くて簡単な基板が作られていますが、ハイエンド向けの高付加価値基板の製造が開始されています。それに伴い、無電解ニッケル/金、特に無電解ニッケル/パラジウム/金めっきの新規ラインの設置が期待されます。当社は表面処理に関する前処理、エッチング、フィリング銅めっき、金めっきまで、トータルプロセスで薬品を提供してまいります。

すでに当社薬品をご使用いただいている顧客の他、新規顧客に拡販していく所存であります。日本、中国、台湾だけでなく、タイ、シンガポール、ベトナムなどのアセアン地区にも金めっき薬品を拡販していく予定です。

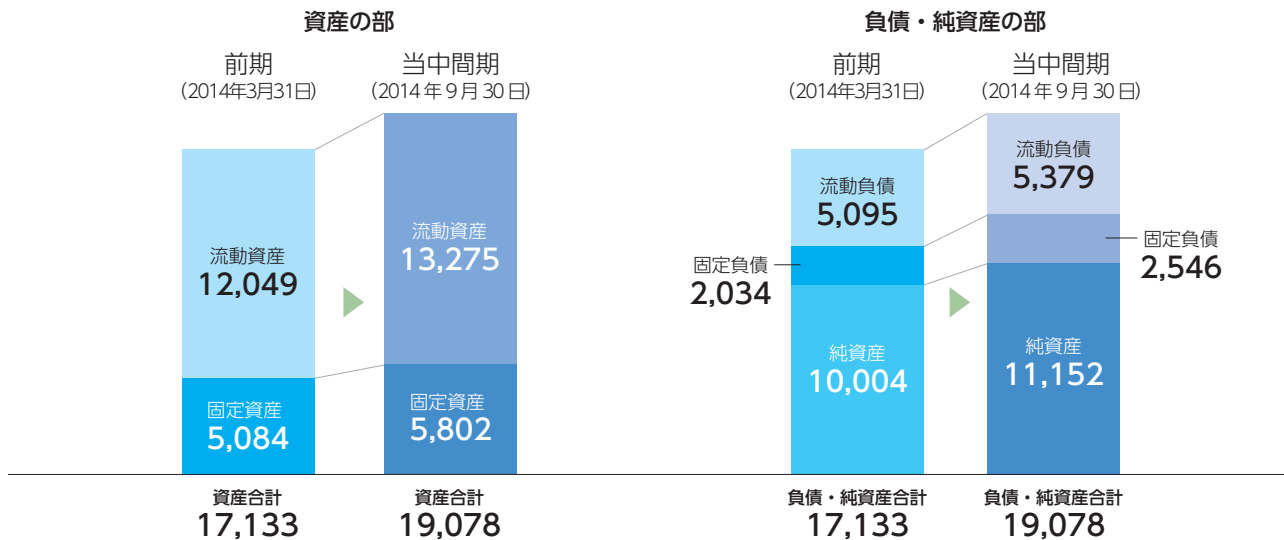


金めっきライン

連結財務諸表

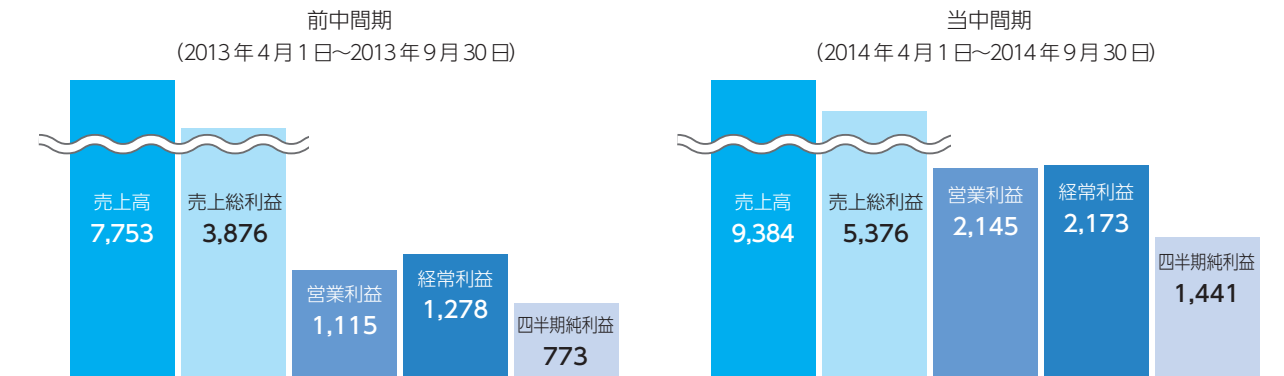
連結貸借対照表

(単位:百万円)



連結損益計算書

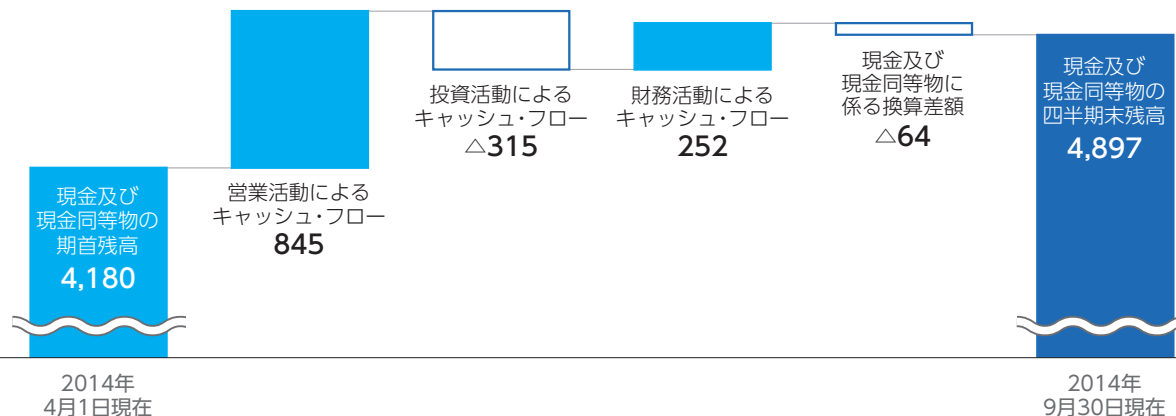
(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当中間期
(2014年4月1日～2014年9月30日)



財務のポイント

● 資産

流動資産は、主に長期借入による現金及び預金の増加や装置売上代金回収による受取手形及び売掛金の増加等により1,225百万円増加し、13,275百万円となりました。固定資産は、主に北海道滝川市の太陽光発電設備完成による機械装置及び運搬具や韓国の新工場建設に伴う建設仮勘定の増加等により、718百万円増加し、5,802百万円となりました。

● 負債

流動負債は、主に銀行借入による長期借入金(1年内返済予定)の増加や太陽光発電設備建設によるその他の負債の増加等により、284百万円増加し、5,379百万円となりました。固定負債は、主に銀行借入による長期借入金の増加により512百万円増加し、2,546百万円となりました。

● 純資産

純資産は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前期末に比べ1,147百万円増加し、11,152百万円となりました。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に売上債権やたな卸資産の増加等による支出はあったものの、税金等調整前四半期純利益や仕入債務や前受金の増加等による収入により、845百万円と前年同期と比べ収入が727百万円の増加となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の減少による収入は増加しましたが、主に韓国やベトナムの工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、△315百万円と前年同期と比べ支出が182百万円の増加となりました。

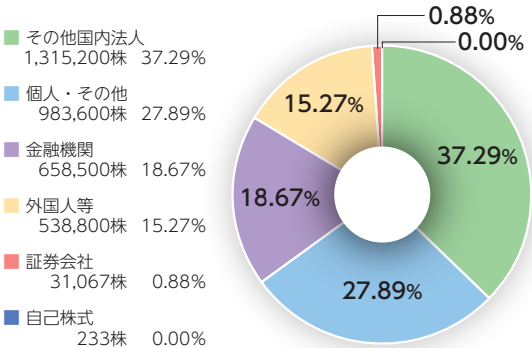
● 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に銀行借入による収入が生じたこと等により、252百万円の収入となりました。

株式の状況

発行済株式総数…………… 3,527,400株
株主数…………… 3,938名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	323,600	9.17
日本パーカライズン株式会社	113,500	3.21
日本高純度化学株式会社	110,000	3.11
粕谷佳允	103,800	2.94
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	102,800	2.91
荏原実業株式会社	100,000	2.83
株式会社S・D・PA	100,000	2.83
日本化学産業株式会社	93,000	2.63
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS	82,000	2.32
神谷理研株式会社	80,000	2.26
栄電子工業株式会社	80,000	2.26

(注) 持株比率は自己株式(233株)を控除して計算しております。

商 号 株式会社JCU(2012年10月1日より)
本 社 所 在 地 東京都台東区東上野四丁目8番1号 TIXTOWER UENO 16階
設 立 1968年(昭和43年)4月1日
資 本 金 1,176,255,128円
事 業 所 ■ 国内
総合研究所 生産本部 大阪支店 名古屋支店
九州営業所
■ 主要な連結子会社
JCU(上海)貿易有限公司
JCU(THAILAND) CO., LTD.
台湾JCU股份有限公司
JCU VIETNAM CORPORATION
JCU KOREA CORPORATION
JCU(深圳)貿易有限公司
銀座鈴蘭堂化粧品股份有限公司
PT. JCU Indonesia
JCU科技(深圳)有限公司
JCU(北京)貿易有限公司
JCU AMERICA, S.A. DE C.V.
■ 関連会社
PROGRESSIVE JCU CHEMICALS PVT. LTD. (インド)
JCU Nanomate株式会社

代表取締役会長兼CEO	粕谷佳允	代表取締役副会長	佳二
代表取締役社長兼COO	小澤憲隆	代表取締役専務執行役員	亮二
専務取締役専務執行役員	中村隆幹	専務取締役専務執行役員	憲男
常務取締役常務執行役員	木村林	常務取締役常務執行役員	司
常務取締役常務執行役員	小林	常務取締役常務執行役員	治
取締役常務執行役員	大森	取締役常務執行役員	久
取締役常務執行役員	新井	取締役常務執行役員	晃
社外取締役	縄野	社外取締役	隆
社外取締役	大伴	社外取締役	秀
社外取締役	高市	社外取締役	寛
社外取締役	山本	社外取締役	二
執行役員	山井	執行役員	夫
執行役員	永井	執行役員	治
執行役員	陸村	執行役員	充
執行役員	西方	執行役員	朗
執行役員	萩原	執行役員	一
執行役員	粕谷	執行役員	正
			昌
			伯
			順
			秀
			樹
			望
			多
			間

従業員数 連結465名(35名) 単体252名(10名)

(注) 臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含みます。)は、年間の平均人員を()外数で記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.jcu-i.com/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金受 取り方法の変 更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットプース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお 取扱できませんのでご了 承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び 全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業情報をはじめ事業情報や、株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。



トップページ



IRページ

J C U

検索

<http://www.jcu-i.com/>

株 主 ひ ろ ば

株主優待について

株主優待制度の変更

当社の株主優待品は3月31日現在単元株以上保有の株主様へ右記のとおり、「ギフトカタログ」をお届けいたしております。

当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割したことに伴い、2015年3月末の株主名簿に記載又は記録された株主様の株主優待制度から、保有株式数基準を従来の2倍の株式数に変更し、また、新たに100株以上200株未満の保有株式数基準の優待内容を新設いたしました。



100株以上200株未満
2,500円相当の品
アクアマリン



200株以上1,000株未満
5,000円相当の品
クリスタル



1,000株以上2,000株未満
10,000円相当の品
ダイヤモンド



2,000株以上
15,000円相当の品
ラピスラズリ

株主還元について

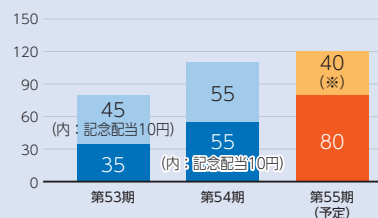
利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

※期末配当につきましては、40円を予定しております。

これは2014年10月1日に株式分割を実施したため、分割前の1株あたりに換算しますと80円となり、年間配当金は株式分割前換算で前期に比べ実質50円の増配となる予定です。

配当金 (円) ■ 期末 ■ 中間



株式会社 JCU

〒110-0015 東京都台東区東上野四丁目8番1号

TIXTOWER UENO 16階

TEL: 03-6895-7001 FAX: 03-6895-7021

<http://www.jcu-i.com/>

